

住宅ローン金利が途中で上昇した場合の返済額

〈シミュレーション条件〉

借入額4,000万円、借入期間35年、元利均等返済、ボーナス返済なし、当初金利0.5%

		金利変動なし	金利変動あり	全期間 固定金利型
			1～2年目の金利：0.5% 3～4年目の金利：1.0% 5～6年目の金利：1.5% 7年目以降の金利：2.0%	【フラット35】を1.82%で利用し、当初5年間1.0%金利引下げを受けた場合の例 1～5年目：0.82% 6年目以降：1.82%
毎月の返済額	当初5年間	10.4万円	10.4万円	11.0万円 + 0.6万円
	6～10年目		12.2万円 + 1.8万円	12.6万円 + 2.2万円
	11～15年目		13.2万円 + 2.8万円	
	16年目以降		//	
総返済額		4,361万円	5,332万円 + 971万円	5,197万円 + 836万円

※住宅金融支援機構による試算です。赤字は、金利上昇がない場合との比較です。
返済額は5年毎に見直し、1.25倍ルール(6年目からの返済額の上限をそれまでの1.25倍とするルール)を適用して試算しました。
※住宅金融支援機構が将来の金利予測を行うものではありません。